平成 23 年度 **事務事業マネジメントシート** 

	0915	_•	3 373 .	J-2/C ( 1 2 7 2		平风 4	3 年	11	月 3	) H	<u>የ</u> ተ ኮኢ
事務事業名  博物館施設改修事業					□ 実施計画登載事業 □ 合併建設計画登載事業						
晒	政策名	豊かな心を育む人づくりの推進 0:6:			事業期間			予算科目 会計 款 項 目			
政策体系	施策名				□ 単年度のみ						
系	基本事業名	11 生涯学習推進体		)充実	▼ 単年度繰返	年度~)					
	根拠法令	博物館法			,	,	01	10	05	06	07
	部課名	教育委員会博物館			□ 期間限定複数年度						
戶		上	高红	00.0404	(計画期間)	左曲					
厚	係名	博物館	電話 内線	29-2161	◆ ◆ 年度 ~ 年度 ~ 全体計画欄の総投入:	年度 畳を記 λ					
·大 ·主	船渡市立博物 な業務は、施設	(具体的なやり方、手順、計 館(昭和41年に岩手県第2号の 設備の大規模な修繕、改修工 設備の修繕料、設計業務委託制	羊細。期間 )登録博物館 事。	館)の施設設備の改修、塾	全体像を記述)	全 総投入量 (千円) 総投入量 (千円)	国庫が出ている。事業費用では、単一のでは、単しのでは、単しのでは、単しのでは、単しのでは、単しのでは、単いのでは、単しのでは、単いのでは、単いのでは、単いのでは、単いの	従事人 務時間 計 (B)	数	年度の	0 0 0
1	現状把握の部	图(DO)									
	事務事業の目										
\ /	丁 こり (一) しいて				\イエL1K1亜						

手段	(主な活動)						活動指標	(事務事業の活動量を表	(す指標)	単位	
前年度実績(前年度に行った主な活動) 屋根防水改修工事(地階屋根部分)、常設展示改修工事(考古・民俗展示室)								名称			
						7	ア施設設備	施設設備の改修件数(着手、継続の計)			
◇年度:	計画(人生度に計画)	している	ス士が千動)			7	1				
今年度計画(今年度に計画している主な活動) 常設展示改修工事(考古・民俗展示室、2ヵ年継続事業)、屋根等改修工事(1階スレー							ウ				
葺屋根部				,							
216	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		. /				対象指標	(対象の大きさを表す指	標)	W / <del>L</del>	
	(誰、何を対象にして			自然貧源寺				名称		単位	
博物館利用者(市民、碁石海岸を訪れる観光客)  博物館施設・設備						۲	力博物館利	博物館利用者数			
						7	+ 博物館延	床面積		m²	
意図	(この事業によって、	対象を	どう変えるの	<u>)か)</u>			_				
	環境で気仙地域の自然						ク				
						4	成果指標	W /1-			
						7		名称		単位	
結果	:(基本事業の意図:_	上位の	基本事業にと	どのように貢献す	するのか)	l	サ 施設設備の改修済件数			件	
	必要な環境がある				, _ , ,	\	シ				
						\					
						\	ス				
(2) 総事	耳業費・指標等の推移	,									
			年度単位	17年度 (実績)	18年度 (実績)	1	9年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	
郥	国庫支出金		千円								
事源	事源地方債		千 円							3,370	
			千円							3,370	
投費部	一般財源		千円							216	
入量一	事業費計 (A)		千 円	0	0		0	0	0	3,586	
	人 止規噸貝促爭人数		人							3	
	延べ業務時間 、件費計 (B)		時 間 千 円	0	0		0	0	0	1,200 4,800	
具人	<ir> (ロ)   トータルコスト(A) + (B)</ir>	١	千円	0	0		0	0	0	8,386	
	活動指標		件	· ·			0			2	
										_	
			人							7,335	
	対象指標	+	m²							2,058	
		ク									
		サ	件							1	
	成果指標										
		ス									
	成果指標	シ	件		- 1/3 -				(大船	渡市)	

事務事業ID 0915 事務事業名 博物館施設改修事業

## (3) 事務事業の環境変化・住民意見等

評

価

いて不公平ではないか?受益者負担

が公平・公正になっているか?

この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

平成13年度に策定された合併建設計画に基づき、平成22年から着手した。

事務事業を取り巻〈状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか? 施設設備については、経年劣化により、計画以外の突発的な不具合が多発する傾向にある。

考古・民俗展示室の常設展示改修工事においては、東日本大震災により三陸沿岸各地の漁村が被災し、展示資料の調査研究で支障が生じた。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特になし。

2	2 評価の部(SEE)*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価							
	政策体系との整合性	□ 見直し余地がある 【理由】 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ■ 結びついている 【理由】 3						
目的妥当性評価	この事務事業の目的は当市の政策体 系に結びつくか?意図することが結 果に結びついているか?	来館者の学習環境を向上させるために行う事業なので、生涯学習推進体制・施設の充実に結びつく。						
	公共関与の妥当性	□ 見直し余地がある 【理由】 → 3 改革·改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ▼ 妥当である 【理由】 →						
	成する目的か?	博物館は市の生涯学習施設であり、その施設改修は市で行うことが妥当である。						
	対象・意図の妥当性	□ 見直し余地がある 【理由】 つ 3 改革·改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ■ 適切である 【理由】 つ						
	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	生涯学習施設の学習環境向上であり、対象・意図ともに適切である。						
有効性評	成果の向上余地	<ul><li>□ 向上余地がある 【理由】 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映</li><li>□ 向上余地がない 【理由】 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映</li></ul>						
	成果を向上させる余地はあるか?成 果の現状水準とあるべき水準との差 異はないか?何が原因で成果向上が 期待できないのか?	開館して29年が経過し、施設設備の経年劣化による突発的な不具合が多発してきている。						
	廃止・休止の成果への影響	<ul><li>影響無 【理由】 つ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映</li><li>▼ 影響有 【その内容】 つ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映</li></ul>						
	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	利用者の学習環境の向上ができず、学習に必要な新たな機会が失われる。						
価	類似事業との統廃合・連携の 可能性	一 他に手段がある 🥄 (具体的な手段,事務事業)						
	目的を達成するには,この事務事業 以外他に方法はないか?類似事業と の統廃合ができるか?類似事業との 連携を図ることにより、成果の向上 が期待できるか?	<ul><li>□ 統廃合・連携ができる 【理由】 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映</li><li>□ 統廃合・連携ができない 【理由】 5 博物館の施設改修事業は他に手段がない。</li></ul>						
	ル-朔14 C G のり、;	▼ 他に手段がない 【理由】 🗳						
効率性評価	事業費の削減余地	削減余地がある   【理由】 つ 3 改革·改善方向の部 (3枚目シート)に反映   削減余地がない   【理由】 つ						
	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	開館から29年が経過する施設設備であり、老朽化や毀損が著しく改修箇所は増加する一方であることから、全体としては削減の余地はない。						
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	▼ 削減余地がない 【理由】 つ						
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより 正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	大規模な修繕・工事の設計があり、常設展示改修の事前の資料収集・調査研究などに専門職員(学芸員)が相当な時間をかけることはやむを得ず、削減の余地はない。						
公平	受益機会·費用負担の適正 化余地	□ 見直し余地がある 【理由】 3 改革·改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☑ 公平·公正である 【理由】 □						
性	事業の内容が一部の受益者に偏って	常設展示室公開においては、一般から入館料を徴収している。						

事務事業ID 0915 事務事業名 博物館施設改修事業
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)
(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) (2) 全体総括(振り返り、反省点) 屋根防水改修工事では、シート防水工法を採用して費用の軽減に努め
目的妥当性 ▼ 適切 □ 見直し余地あり ることができた。 常設展示改修工事では、詳細設計に加えて監理業務も専門業者へ委
有効性 「
□ 効率性 □ 適切 □ 見直し余地あり □ 尽力を表示を表現している。
公平性 適切 □ 見直し余地あり □
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可) (4) 改革・改善による期待成果
左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待で     廃止   休止   目的再設定   事業統合・連携   現状維持   きる成果について該当欄に「」を記入する。
事業のやり方改善 ( 戸 有効性改善 戸 効率性改善 ) (廃止・休止の場合は記入不要)
(上記方向性に対する具体的な内容)
考古・民俗展示室の常設展示改修工事、屋根等改修工事を行い、資料の良好な保存環境の維持と、来館者 削減 維持 増加 の利用環境を向上させる。
果
経年劣化や東日本大震災による施設設備の突発的な不具合が多発しており、利用環境を維持向上させるため、早期の改修整備が必要となっている。
(職 名) 原則として施策の主管課長
4 事務事業の2次評価結果 2次評価者 博物館長
(1) 1次評価結果の客観性と出来具合
記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)
┃
▼ 記述は十分なされている
評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) 「客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)
一部に客観性を欠いたところがある
▼ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)
(2) 2次評価者としての評価結果 (3) 評価結果の根拠と理由 適切な事務事業執行がなされている。
目的妥当性
■ 有効性 適切 □ 見直し余地あり □ 見直し余地あり □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
□ 適切 □ 見直し余地あり □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
公平性 適切 □ 見直し余地あり □
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可) (5) 改革・改善による期待成果
施設設備の不具合やリニューアルを考慮し、継続して事務事業を実施する。
5 最終評価結果
(1) 行政経営推進会議等での指摘事項